

# 令和5年度 国立乗鞍青少年交流の家 「私なりのSDGs宣言書」

当施設は高山市に「飛騨高山SDGsパートナー登録」をしています。  
 まずは、職員一人一人が「私なりのSDGs宣言」をし、できることから取り組んでいきます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



職名	氏名	私なりのSDGs宣言	目標
所長	関根 章文	高山の自然や文化を感じるために、直接触れる体験を求めています。	
次長	谷崎 誠	まずは、いっしょに話したり取り組んでみたりする仲間をつくりたいな。	
事業推進室長	谷口 昌生	コミュニケーションをたくさんとります。 自分の基準で相手を判断するのではなく、相手の思い・願いを理解し、公正な見方や考え方に努めています。	
企画指導専門職	土井 響	川と海のつながりを考え、美しい環境を保つことができるように呼びかけます。	
企画指導専門職	牧田 隆之	マイ箸、マイボトルを使用します。	
企画指導専門職	立松 伸悟	自然豊かな環境の中での活動を通して、環境保全の大切さを伝えていきます。	
企画指導専門職	大槻 寛	多くの方々へSDGsの大切さを伝えていきます。	
事業推進係長	紺谷 和宏	マイバッグ、マイボトルを使用し、ごみは資源として分別します。	
事業推進係	桐谷 明一	電気をこまめに消す。	
事業推進係	湯本 将太	ごみを減らし、再利用を意識します。	
事業推進係	山本 篤信	施設周辺の緑の豊かさを守ります。	
総務係長	田川 晴美	食材を大切にし、節電・節水、ごみの分別を心掛けます。	
総務係	社 太良	マイバックやマイボトルを使用するなど、エシカル消費を心がけます。	
管理係長	溝尻 裕	光熱水料の節約目標値に向けて節電・節水に努める。	
管理係主任	林 健介	自分や周囲の、性別や個人の特性、所属等に対するアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）に気づき、無自覚に存在している不平等や生きづらさの連鎖を身近なところから断ち切ります。	